

# 大学院特別講義

## (医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究持論) (医歯理工学先端研究持論)

下記により大学院講義を行います。大学院以外の先生方も是非ご来聴下さい。

### 記

1. 講師： 中村 幸生 先生

(ノルウェー・オスロ大学歯学部 客員教授)

2. 演題： 「歯科先進国である北欧から、日本の歯科を考える」

3. 日時： 平成26年3月7日(金) 17:00～19:00

4. 場所： 歯学部第一講義室(7号館1階)

5. 内容：

北欧には2つの世代があるといわれている。1つは1970年代以降に生まれた世代である。この世代は予防歯科学が進み、う蝕の発生はゼロに向かっている。もう1つの世代、すなわち1970年以前に生まれた世代は、インプラント治療が大きく広がったため、義歯を用いている患者さんは大きく減少した。しかし、その反面、インプラント周囲炎がヨーロッパ全体の問題となっている。また、北欧では、国家をあげて禁煙運動を行ったため、喫煙者は劇的に減少した。ところが、『かみタバコ』が広がり始め、そのことにより口腔粘膜疾患が増加する傾向している。時代に伴い病態は変化しているのであるか。今回、ノルウェーを中心とした歯科先進国である北欧から、日本の歯科を考えてみたい。

連絡先：歯学教育システム評価学(MDセンター) 荒木孝二 (内4577)